

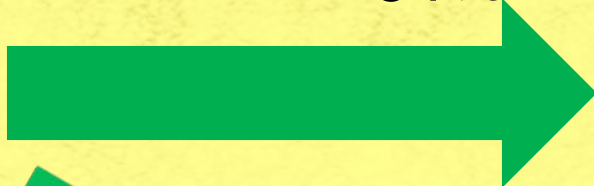
他の機関を
受診・相談



心の問題

他人との関わり
問題行動
発達の遅れ

84%



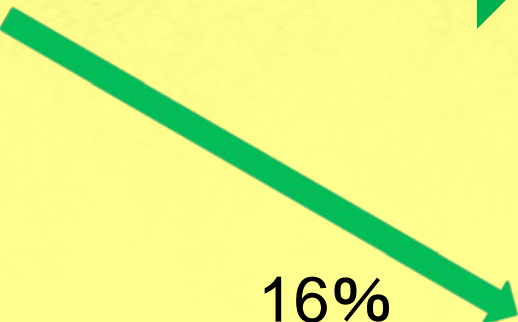
小児科
保健センター



他の機関と
の連携

16%

自ら受診



子どもの心
の専門病院

44%



生活困難度
改善



患者自身の生活上困難度評価と医師による評価との比較 (n=781)

- 心の専門病院に軽度の症状で受診している場合があるかどうかを評価するため、患者自身の生活上困難度評価と医師による評価を比較した。
- 対象：患者調査および医師による患者調査でリンク可能であった症例 (n=781)

患者自身の生活上困難度評価と医師による評価との比較 (n=781)

生活困難度簡易尺度の平均の比較

	受診前	現在
患者評価	3.7	2.7
医師評価	4.2	3.3

それぞれ対応のあるt検定で $p < 0.001$

生活困難度簡易尺度の差の分布

	受診前	現在
患者評価 < 医師評価	48%	50%
患者評価 = 医師評価	29%	33%
患者評価 > 医師評価	23%	17%

患者自身の生活上困難度評価と医師による評価との比較 (n=781)

- 生活困難度簡易尺度を用いた場合に、患者は医師の評価より軽く評価する傾向があった。
- 少なくとも、患者評価は高いが医師評価は低い症例（軽症例）が子どもの心の専門病院に多く集まってしまっている、という傾向は見いだせなかった。